

# 実践しよう 環境にやさしい新生活

## クール・ビズで快適&省エネ

もうすぐ夏本番。暑い夏は、家庭でもオフィスでも、つつい冷房に頼りがちになってしまっています。でも、ひんやりするくらい冷房を効かせ、上着を着ているのでは、エネルギーの無駄づかい。市は、冷房によるエネルギー消費量を抑えようと、6月から、夏の軽装を奨励する『クール・ビズ』作戦をスタートしました。地球温暖化が問題となっている今、一人ひとりの省エネ実践が大切です。今年の夏は、あなたも、環境にやさしい『クール・ビズ』を取り入れてみませんか。



地球温暖化防止対策として、市役所でもノーネクタイ・ノー上着を実施中です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### 新ビジネススタイル 『クール・ビズ』

最近、新聞やテレビなどで話題になっている『クール・ビズ』(COOL・BIZ)。これは、環境省が募集した『省エネリック』に替わる新しいビジ

ネススタイルの愛称です。涼しい、カッコいいという意味の『クール』に、ビジネスの意味の『ビズ』を合わせたもので、約3200件の応募の中から選ばれました。地球温暖化防止対策の一つとして、消費電力を抑えるため、

夏のオフィスの冷房設定を28に保ち、ノーネクタイ、ノー上着でも、効率的に働くことができるような夏のオフィスウエアのことで。

## 市役所でも『クール・ビズ』実施中

6月から国の行政機関では、一斉に『クール・ビズ』を取り入れ、閣議などでもノーネクタイの大臣が見られるようになっていきます。

市でも、地球温暖化防止対策として、衣替えに合わせ、6月1日から『クール・ビズ』作戦をスタート。富山市長をはじめ、職員はノーネクタイ・ノー上着で業務にあたっています。ただし、来庁者に不快感を与えないよう、シャツは襟付きのものとし、Tシャツは不可。ポロシャツは原則として白色のもので、TPO（時間、場所、機会）を考慮した公務員らしい服装としています。

庁舎内の冷房は28に設定。室温が28を超えた場合のみ、空調機を運転することにし、経費削減、温室効果ガス削減に努めます。

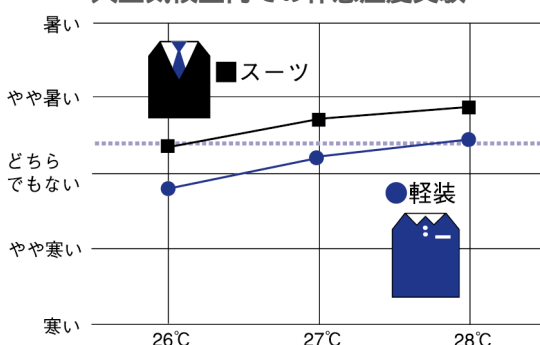
この『クール・ビズ』作戦は、9月30日まで実施します。

## 上着を脱いで、

## 冷房は室温28℃に設定

財団法人省エネルギーセンターの実験によると、室温28で軽装の人と、室温26でスーツの人の感じる暑さは、ほぼ同じという結果になりました。つまり、上着を脱いで、ネクタイを外せば、体感温度は約2下がるといことです。

人工気候室内での体感温度実験



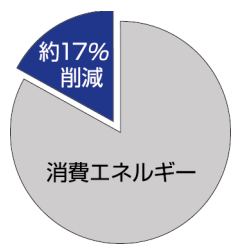
仮に、暑いと感じる人に合わせてエアコンの設定温度を低くすると、その分、消費電力が増えるうえ、寒いと感じる人は一枚はおらなくてはなりません。暑いと感じる人がスーツではなく軽装になることで、エネルギーを無駄づかいすること

く、誰もが快適に過ごせるようになります。



28  
26

室温を26℃から28℃にすると...



約17%の省エネになります。

また、オフィスの室温を26から28に2上げる、冷房の消費電力のうち、約17%の省エネ効果があると言われています。仮に、これを全国の事務所ビルが実施すると、年間で原油約31万kl（ドラム缶約155万本）の節約になります。

## 『クール・ビズ』は環境にやさしい取り組み

最近では、『クール・ビズ』を奨励するとともに、冷房の設定温度を調整するなど、夏の省エネを進めている企業が増えています。財団法人省エネルギーセンターが企業や自治体に行ったアンケート調査によると、

『クール・ビズ』について『奨励している』『奨励する予定である』と答えた企業は、51.3%で半数を超えています。

奨励していない企業では、軽装によって『顧客からの評価が下がる』『社内の秩序・風紀の乱れ』といったことを心配しているようです。しかし、すでに『クール・ビズ』を進めている企業では、むしろ『社員の士気や業務効率が上がった』『顧客の評価が良くなった』と、プラスの影響を挙げています。

『ノーネクタイは失礼』という意識よりも、『環境にやさしい取り組みを実践している』という点で、外部からもプラスの評価を得ているようです。

## 一人ひとりが暮らしのなかで省エネを

環境問題は、私たち一人ひとりに課せられた身近な問題です。それを解決していくためには、毎日の暮らしのなかで環境に配慮した行動を心がけ、実践することが大切です。

夏はエネルギーの消費量がピークを迎える季節。一人ひとりが環境にやさしい生活を心がけ、身近なところから地球温暖化防止に取り組みしましょう。